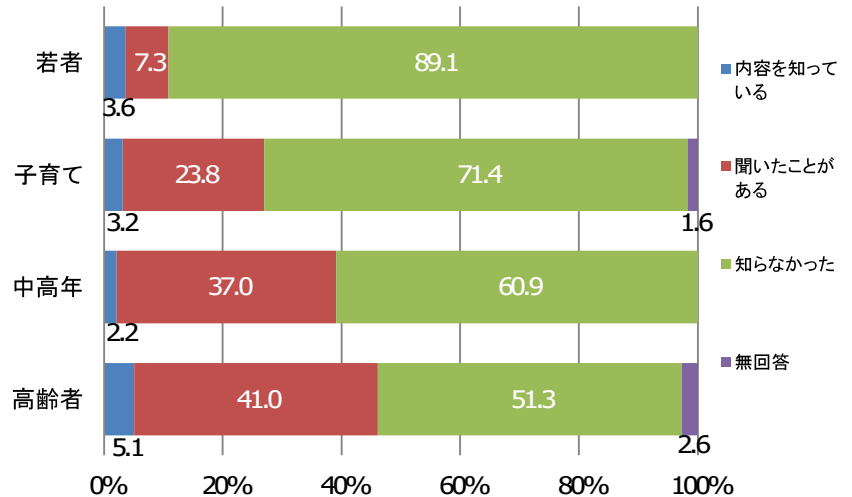
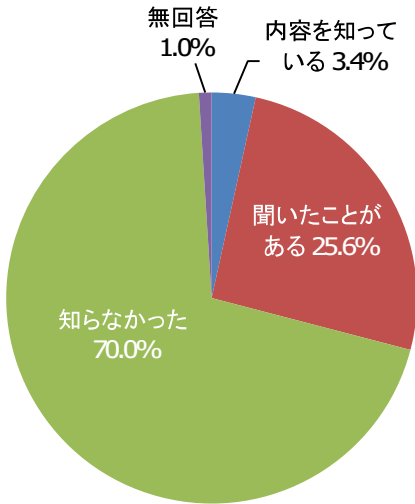


<ブラジルホストタウンの取り組みについて>

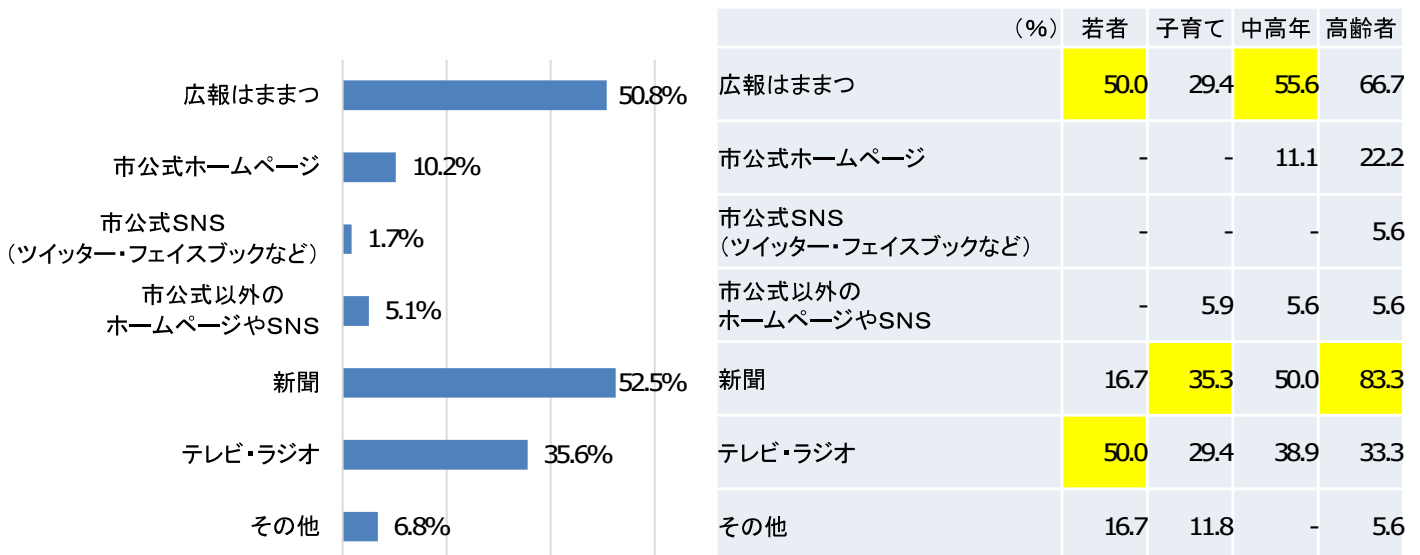
■ 問1 浜松市が「東京2020オリンピック・パラリンピック」におけるブラジルのホストタウンとして、ブラジル選手団の事前合宿を受け入れること※の認知度 (N=203)

※ 令和元年7月にブラジルオリンピック委員会・ブラジルパラリンピック委員会と、ブラジル選手団の事前合宿に関する協定を締結しました。



- 浜松市が「東京2020オリンピック・パラリンピック」におけるブラジルのホストタウンとして、ブラジル選手団の事前合宿を受け入れることの認知度については、『知っている』(「内容を知っている」と「聞いたことがある」の合計)が約3割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて『知っている』の回答割合が高くなっています。

■ 問2 ブラジル選手団の事前合宿受け入れを知った媒体 (問1で「1 内容を知っている」「2 聞いたことがある」と回答した方) (N=59 複数回答)

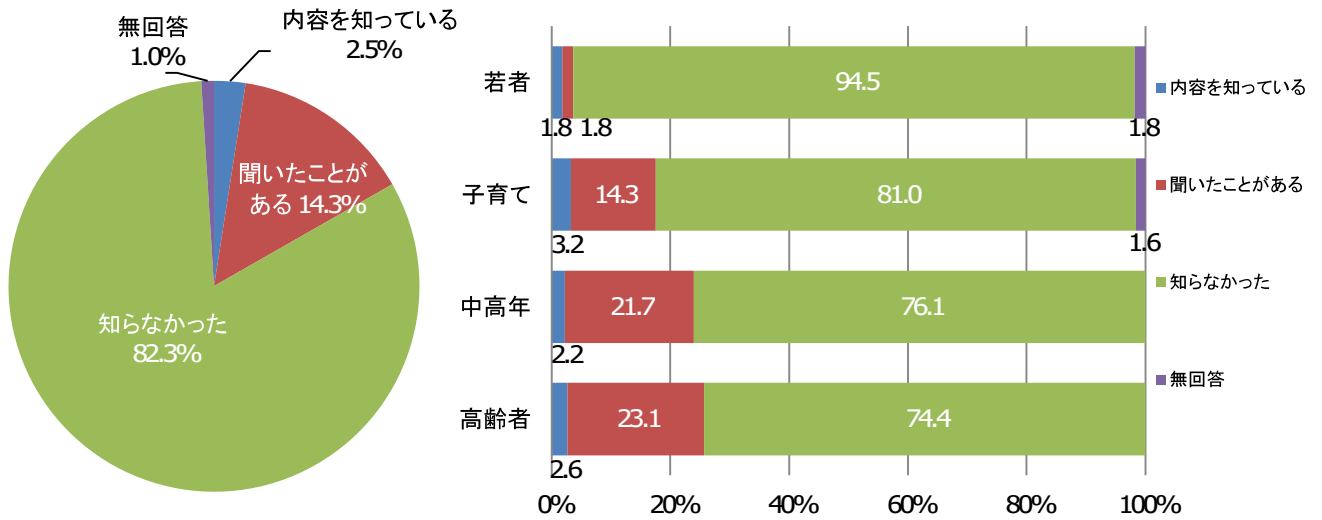


■ その他意見

- ・家族から
- ・仕事

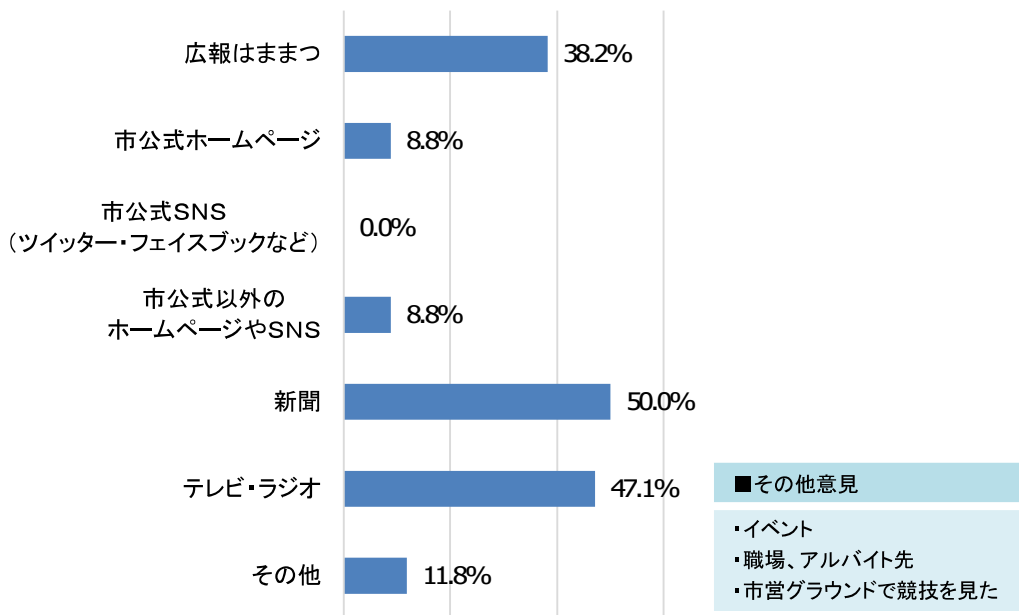
- ブラジル選手団の事前合宿受け入れを知った媒体については、「新聞」が約5割と最も多い回答となっており、次いで「広報はままつ」も約5割となっています。
- 世代別にみると、子育て・高齢者では「新聞」が、若者・中高年では「広報はままつ」が最も多い回答となっています(若者では「テレビ・ラジオ」も同率)。

■問3 市内でブラジル選手団の合宿が行われていたことの認知度 (N=203)



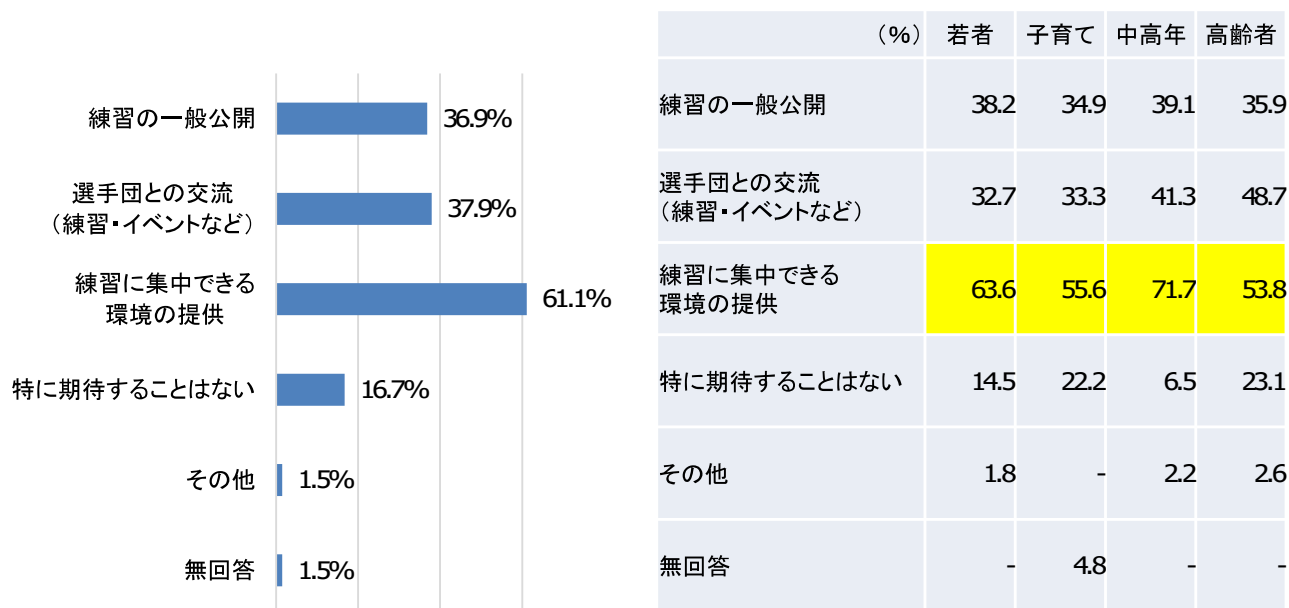
- 市内でブラジル選手団の合宿が行われていたことの認知度については、『知っている』(「内容を知っている」と「聞いたことがある」の合計)が約2割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて『知っている』の回答割合が高くなっています。

■問4 ブラジル選手団の合宿が行われていたことを知った媒体 (N=34 複数回答)
(問3で「1 内容を知っている」「2 聞いたことがある」と回答した方)



- ブラジル選手団の合宿が行われていたことを知った媒体については、「新聞」が約5割と最も多い回答となっており、次いで「テレビ・ラジオ」も約5割となっています。

問5 ブラジル選手団の事前合宿に関して市に期待すること (N=203 複数回答)

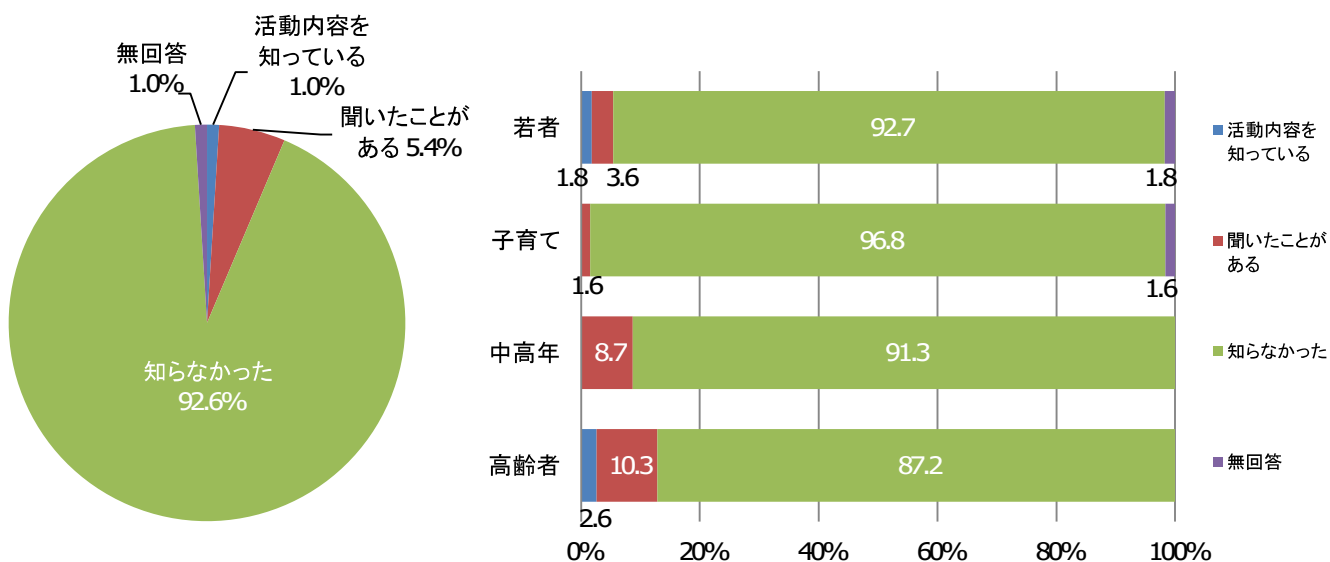


■その他意見

- ・ホストタウンとしての取り組みのPR
- ・興味のない市民への配慮

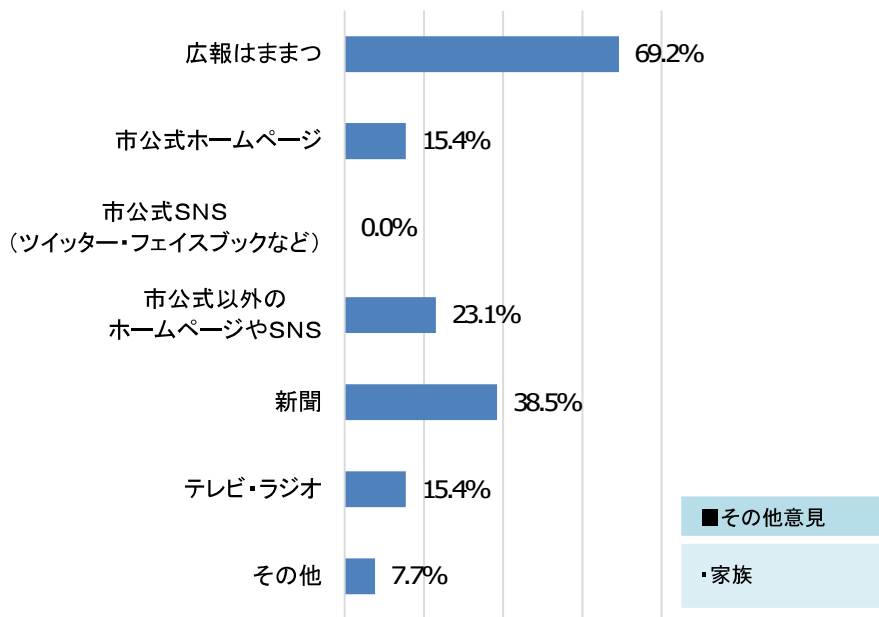
- ブラジル選手団の事前合宿に関して市に期待することについては、「練習に集中できる環境の提供」が約6割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「練習に集中できる環境の提供」が最も多い回答となっています。

問6 ブラジル選手団の事前合宿をサポートする市民ボランティア「トルシーダ・ブラジル」の認知度 (N=203)



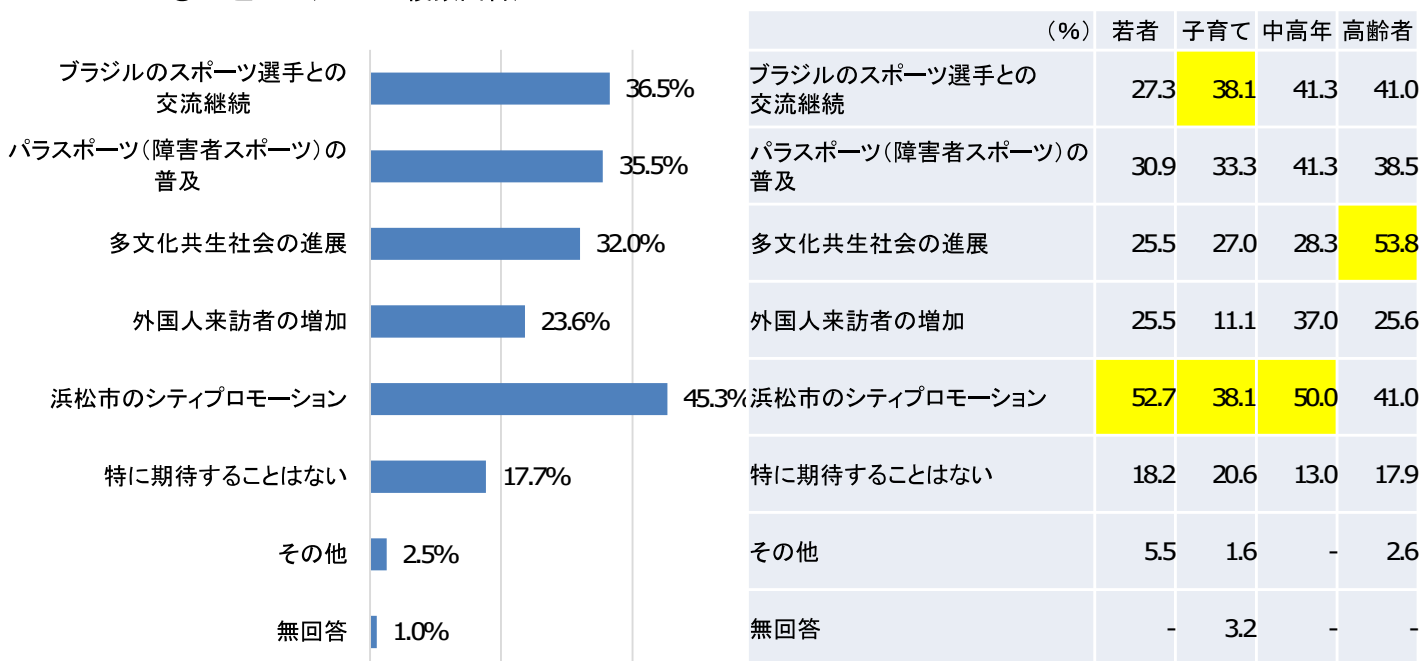
- ブラジル選手団の事前合宿をサポートする市民ボランティア「トルシーダ・ブラジル」の認知度については、『知っている』(「活動内容を知っている」と「聞いたことがある」の合計)が約1割となっています。
- 世代別にみると、高齢者のみ『知っている』の回答が1割を超えています。

■ 問7 「トルシーダ・ブラジル」を知った媒体 (N=13 複数回答)
 (問6で「1 活動内容を知っている」「2 聞いたことがある」と回答した方)



■ 「トルシーダ・ブラジル」を知った媒体については、「広報はままつ」が約7割と最も多い回答となっています。

■ 問8 「東京2020オリンピック・パラリンピック」終了後のレガシー(遺産)として期待すること (N=203 複数回答)



■ その他意見

- ・都市間のスポーツ交流
- ・若い世代に好影響を与えるような交流
- ・市民のスポーツへの参加
- ・経済効果

- 「東京2020オリンピック・パラリンピック」終了後のレガシー(遺産)として期待することについては、「浜松市のシティプロモーション」が約5割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年では、「浜松市のシティプロモーション」が、高齢者では「多文化共生社会の進展」が最も多い回答となっています(子育てでは「ブラジルのスポーツ選手との交流継続」も同率)。